

取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

<p>警告</p> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> <p>万一、異常が起きたら、機器の内部に異物や水などが入ったときは、この機器を落としたり、カバーを破損したときは、すぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>販売店またはティップック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p> <p>ACアダプターの電源プラグにほこりを含め、ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>	<p>警告</p> <p>ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くのではなく、必ずACアダプター本体の電源プラグをコンセントから抜くようにしてください。</p>	<p>注意</p> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> <p>移動させる場合は、電源をオフ（スタンバイ状態）にし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っかけが原因になることがあります。</p> <p>旅行先などで長時間この機器を使用するときや、お手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となります。</p> <p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする。</p> <p>突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。また、モニター、機器などを破損させる原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする。</p> <p>異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、別売の専用ACアダプターや電源コードを使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>くろに置かない。</p> <p>シャワーほこりの多い場所に置かない。風呂、トイレなどでは使用しない。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない。</p> <p>火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>アダプターの電源コードを引っ張らない。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。</p> <p>必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない。</p> <p>感電の原因となる場合があります。</p>	<p>注意</p> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> <p>ACアダプターのコードを傷つけない。</p> <p>ACアダプターのコードの上に重い物を載せたり、コードを壁や柱との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない。</p> <p>ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない。</p> <p>コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>万一ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティップック修理センター（巻末に記載）をご依頼ください。</p> <p>別売のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない。</p> <p>故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない。</p> <p>この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外に電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落したりしない。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>航空機の離着陸時には使用しない。</p> <p>航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。</p>
--	---	--	---

<p>警告</p> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> <p>この機器のカバーは絶対に外さない。</p> <p>カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>内部の点検・修理は販売店またはティップック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	<p>注意</p> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。</p> <p>移動させる場合は、電源をオフ（スタンバイ状態）にし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っかけが原因になることがあります。</p> <p>旅行先などで長時間この機器を使用するときや、お手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となります。</p> <p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする。</p> <p>突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。また、モニター、機器などを破損させる原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする。</p> <p>異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、別売の専用ACアダプターや電源コードを使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>くろに置かない。</p> <p>シャワーほこりの多い場所に置かない。風呂、トイレなどでは使用しない。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない。</p> <p>火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>アダプターの電源コードを引っ張らない。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。</p> <p>必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない。</p> <p>感電の原因となる場合があります。</p>
--	--

<p>注意</p> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。</p> <p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティップック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>	<p>警告</p> <p>充電式電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない。</p> <p>液漏れが発生したときは、ティップック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。</p> <p>液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をさすらずにすぐに洗ってください。洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。</p> <p>液が体や衣服に付いたときは皮膚のけが、やけどの原因になるので、きれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。</p>	<p>警告</p> <p>充電式電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない。</p> <p>液漏れが発生したときは、ティップック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。</p> <p>液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をさすらずにすぐに洗ってください。洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。</p> <p>液が体や衣服に付いたときは皮膚のけが、やけどの原因になるので、きれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。</p>	<p>警告</p> <p>充電式電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない。</p> <p>液漏れが発生したときは、ティップック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。</p> <p>液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をさすらずにすぐに洗ってください。洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。</p> <p>液が体や衣服に付いたときは皮膚のけが、やけどの原因になるので、きれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。</p>	<p>注意</p> <p>指定以外のACアダプターとUSBケーブルを使用しない。</p> <p>家庭用AC電源で使用するときや充電を行うときは、必ず指定のACアダプターとUSBケーブルを使用してください。指定以外の物を使用すると過熱により、けが・やけど・火災・汚損や電池の破裂、液漏れの原因となります。</p> <p>火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない。</p> <p>電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。</p> <p>分解しない。</p> <p>感電の原因になります。充電式電池の交換・点検・修理は、お買い上げの販売店またはティップック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。ただし、廃棄時には取扱説明書の手順にしたがって内部の電池を取り外してリサイクルにご協力ください。</p>	<p>注意</p> <p>指定以外のACアダプターとUSBケーブルを使用しない。</p> <p>家庭用AC電源で使用するときや充電を行うときは、必ず指定のACアダプターとUSBケーブルを使用してください。指定以外の物を使用すると過熱により、けが・やけど・火災・汚損や電池の破裂、液漏れの原因となります。</p> <p>火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない。</p> <p>電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。</p> <p>分解しない。</p> <p>感電の原因になります。充電式電池の交換・点検・修理は、お買い上げの販売店またはティップック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。ただし、廃棄時には取扱説明書の手順にしたがって内部の電池を取り外してリサイクルにご協力ください。</p>
--	--	--	--	---	---

<p>警告</p> <p>単3形電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに指示されている通りに正しく入れ、間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。</p> <p>長時間使用しないときは単3形電池を取り出し、おいてください。</p> <p>液が漏れ、火災・けが、周囲を汚損する原因となる場合があります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取って、から新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。</p>	<p>警告</p> <p>指定以外の単3形電池は使用しない。</p> <p>新しい電池と古い電池、または種類の違う単3形電池を混ぜて使用しない。</p> <p>破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。</p> <p>炎天下の室内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる所で保管しない。</p> <p>本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。</p> <p>電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない。</p> <p>本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけどの原因となります。</p>	<p>注意</p> <p>単3形電池に関する注意</p> <p>金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。</p> <p>ショートして液漏れや破裂などの原因となる場合があります。</p> <p>電池を熱したり、火または水に投げ入れられたりしない。</p> <p>電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。</p> <p>分解しない。</p> <p>電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。</p> <p>保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようテープなどで端子を絶縁してください。</p> <p>使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各自治体の廃棄方法にしたがって捨ててください。</p>	<p>注意</p> <p>単3形電池に関する注意</p> <p>金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。</p> <p>ショートして液漏れや破裂などの原因となる場合があります。</p> <p>電池を熱したり、火または水に投げ入れられたりしない。</p> <p>電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。</p> <p>分解しない。</p> <p>電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。</p> <p>保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようテープなどで端子を絶縁してください。</p> <p>使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各自治体の廃棄方法にしたがって捨ててください。</p>
--	---	---	---

目次

安全にお使いいただくために	83
リファレンスマニュアルについて	84
本製品の構成	84
リチウムイオン充電電池のリサイクル	84
内蔵バッテリーの取り外し方	84
SDカードについて	85
取り扱上の注意	85
設置上の注意	85
結露について	85
製品のお手入れ	85
ユーザー登録について	85
アフターサービス	85
各部の名称	85
トップパネル	85
フロントパネル	86
リアパネル	86
左サイドパネル	86
右サイドパネル	86
ボトムパネル	86
基本操作	86
ホーム画面について	86
メニューの基本的な操作方法	86
準備	87
電源の準備	87
SDカードを挿入する	87
誤操作を防止するホールド機能	87
電源をオンにする	87
電源をオフ (スタンバイ状態) にする	87
言語を選択する	88
日時を設定する	88
SDカードをフォーマット (初期化) する	88
録音する	88
入出力レベルを調節する	89
再生する	89
ファイルを消去する	89
パソコンと接続する	89
こんなことをするには	90
メニューリスト	92
ファンクションメニューリスト	93
メッセージ一覧	94
トラブルシューティング	95
仕様	95
定格	95
入出力	95
オーディオ性能	96
録音時間	96
一般	96

このたびは、TASCAM Linear PCM Recorder DR-100MKIIIをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みください。正しい取り扱いは、製品の寿命を延ばし、安全な使用に繋がります。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本製品はアナログ・デバイス社製16/32ビット Blackfin組み込みプロセッサを搭載し製品のデジタル信号処理と制御を行っています。このBlackfin@プロセッサを搭載することにより製品の高性能化・省電力化を実現しています。

リファレンスマニュアルについて

取扱説明書 (本書) では、本機の基本機能について解説しています。全ての機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカムカスタマーサポート (巻末に記載) までご連絡ください。

- 本体 x1
- デジタル入力変換ケーブル x1
- 取扱説明書 (本書、保証書付き) x1

リチウムイオン充電電池のリサイクル

本機には、内蔵バッテリーとしてリチウムイオン充電電池を使用しています。不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ご不明な場合は、弊社のタスカム カスタマーサポート (巻末に記載) までお問い合わせください。



注意

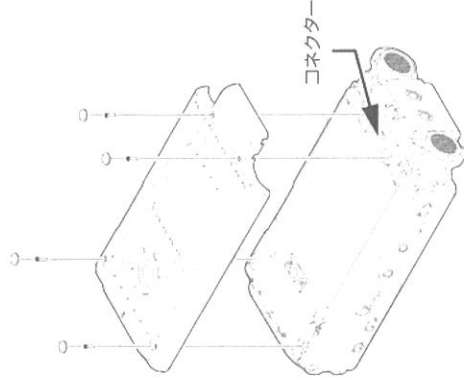
- 製品を廃棄するとき以外は、絶対に本体を分解しないでください。
- 充電式電池の交換は、ティアック修理センター (巻末に記載) に依頼してください。

内蔵バッテリーの取り外し方

内蔵バッテリーを取り外す場合は、電源をオンにしても動作しなくなるまで内蔵バッテリーを放電させてください。

- 内蔵バッテリーを放電させるときは、外部電源と単3形電池を外し、電源/画面設定 画面の自動電源オフ項目を無効に設定してください。
- 本機を分解するには、プラスドライバー (#0) が必要です。

1. ボトムパネルのゴム足を剥がす。
2. ゴム足を剥がした場所のネジ (4箇所) を外す。
3. ボトムパネルを外す。
4. バッテリーからのコネクタを外してから、バッテリーを外す。



SDカードについて

本機では、SDカードを使って録音や再生を行います。

使用できるカードは、64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカード、および48GB～128GBのSDXCカードです。TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/ip/>) には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もししくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

取り扱い上の注意

SDカードは、精密にできています。SDカードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点にご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などSDカードにアクセス中に抜き差しはしないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

設置上の注意

- 動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所や不安定な場所
 - 長時間直射日光が当たる場所
 - 暖房機器のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に湿度の低い場所
 - 湿度の多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
 - 直接雨などの水が当たる場所
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオから雑音が出る場合があります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用す

ると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出る場合があります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いくください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

TASCAM のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

<https://tascam.jp/jp/login>

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万一、販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できない場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。

修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。

なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。

本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記録内容を消した場合は修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

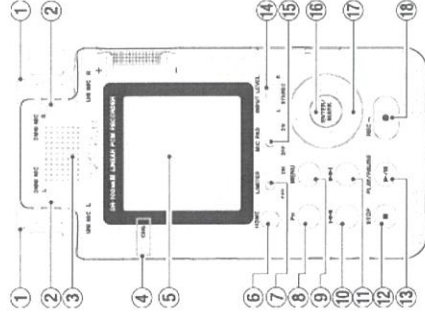
- 型名、型番 (DR-100MKIII)
- 製造番号 (Serial No.)
- 故障の症状 (できるだけ詳しく)
- お買い上げ年月日
- お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合には必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

各部の名称

注意

ヘッドホンや外部機器のプラグを接続するときや使用中には、プラグに無理な力を加えないでください。特に標準→ミニ変換プラグを使う場合は思わぬ力が加わり、機器を破損してしまう恐れがありますのでご注意ください。

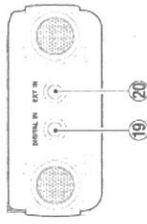
トップパネル



- ① UNI MIC L / R (内蔵指向性ステレオマイク)
- ② OMNI MIC L / R (内蔵無指向性ステレオマイク)
- ③ 内蔵スピーカー (モノラル)
- ④ CHG (チャージ) インジケータ
- ⑤ ディスプレー
- ⑥ HOMEボタン
- ⑦ LIMITERスイッチ
- ⑧ Fnボタン
- ⑨ MENUボタン
- ⑩ ◀ボタン
- ⑪ ▶ボタン
- ⑫ STOP [■] ボタン
- ⑬ PLAY/PAUSE [▶/■] ボタン

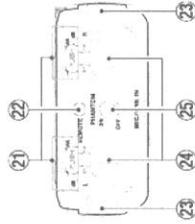
- ⑭ INPUT LEVEL 選択スイッチ
- ⑮ MIC PAD スイッチ
- ⑯ ENTER/MARK ボタン
- ⑰ ホイール
- ⑱ REC [●] ボタン / REC インジケータ

フロントパネル



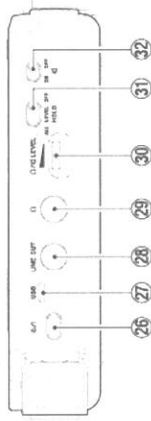
- ⑲ DIGITAL IN 端子
- ⑳ EXT IN 端子

リアパネル



- ⑳ レベルインジケータ
- ㉑ REMOTE 端子
- ㉒ ストラップホルダー
- ㉓ MIC / LINE IN L / R 端子 (XLR / TRS)
- ㉔ PHANTOM スイッチ

左サイドパネル



- ㉖ ㉗ / ㉘ (電源) ボタン

- ㉚ USB 端子
Micro-B タイプの USB ポートです。USB 規格に準拠したケーブルを使用し、パソコンとのマスタストレージ接続や AC アダプターによる給電ができます。
- ㉛ LINE OUT 端子
- ㉜ Ω (ヘッドホン) 端子
- ㉝ Ω / ㉞ (ヘッドホン / スピーカー) LEVEL ボリューム
- ㉟ HOLD スイッチ
- ㊱ (スピーカー) スイッチ

右サイドパネル



- ㉟ 電池ケース (単3形電池)
- ㊲ SD カードスロット
- ㊳ 入力レベルノブ

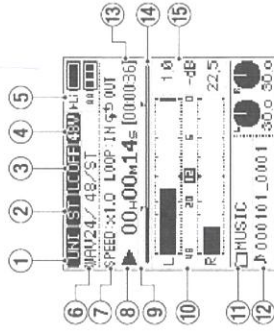
ボトムパネル



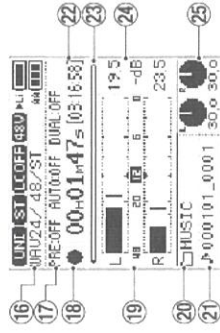
- ㉞ 三脚取り付け穴 (1 / 4 インチ)
- ㊴ REC インジケータ

基本操作

ホーム画面について



[停止中 / 再生中]



[録音待機中 / 録音中]

- ① 入力ソース表示
- ② 入力チャンネル表示
- ③ ローカットフィルター状態表示
- ④ ファンタム電源供給の状態表示
- ⑤ 電源供給の状態表示
- ⑥ ファイル形式状態表示
- ⑦ 再生速度 / ループ再生状態表示
- ⑧ トランスポートの状態表示 (停止中 / 再生中)
- ⑨ ループ再生の IN 点 / OUT 点表示
- ⑩ レベルメーター表示
- ⑪ 再生フォルダー名表示
- ⑫ 再生ファイル名表示
- ⑬ 再生時間表示 / 再生残時間表示
- ⑭ 再生位置表示

- ⑮ ピーク値のデシベル (dB) 表示
- ⑯ 録音フォーマット表示
- ⑰ 各種録音機能状態表示
- ⑱ トランスポートの状態表示 (録音待機中 / 録音中)
- ⑲ レベルメーター表示
- ⑳ 録音フォルダー名表示
- ㉑ 録音ファイル名表示
- ㉒ 録音時間表示 / 録音可能時間表示
- ㉓ 録音位置表示
- ㉔ 録音レベルのピーク値のデシベル (dB) 表示
- ㉕ 入力レベル表示

メニューの基本的な操作方法

1. メニュー画面を表示する
MENU ボタンを押します。
2. メニュー項目を選ぶ
ホイールを使って項目を選択し、ENTER / MARK ボタンを押すと各種設定項目を表示します。



3. 設定項目を選ぶ
ホイールを使って項目を選択し、ENTER / MARK ボタンを押すと各項目の設定値を表示します。

入出力設定	
入カソース	UNI
A/Dフィルター	SOL1
デュアルA/D C	切
ローカット	切
RECレベル制御	手動
M5デコード	切
[ENTER]	

メモ

- 設定値がオン/オフ切り換えのみの場合は、設定値を選択せずに変更することができます。
- 前の画面に戻るには、**←** ボタンを押してください。

4. 設定値を選ぶ

ホーム画面を使って設定を変更し、**ENTER/** MARK ボタンを押して確定します。

ローカット	切
	40 Hz
	80 Hz
	120 Hz
	220 Hz
[ENTER]	

メモ

- 操作を中止するには、**←** ボタンを押してください。
- ホーム画面に戻るには、**HONE** ボタンを押してください。

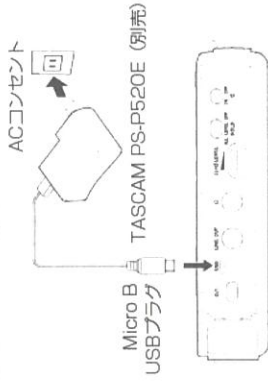
準備

電源の準備

内蔵バッテリーで使用する

お買い上げ後、はじめて使用するときや長期間使用しなかつたときは、充電をしてからご使用ください。

- 内蔵バッテリーを充電するには
別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E)、または本機のUSB端子とパソコンをUSBケーブル (Type A - Micro B) で接続し、内蔵バッテリーを充電してください。
充電中も本体の使用は可能です。

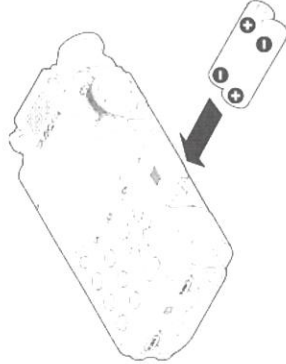


内蔵バッテリーの充電状況は、CHG (チャージ) インジケータの点灯状態で確認することができます。

オレンジ色に点灯 : 充電中
緑色に点灯 : 充電完了

単3形電池で使用する

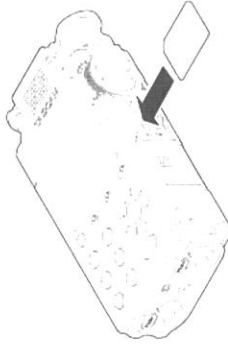
- 電池ケースのカバーをボトムパネル側に引いてから、カバーを開きます。
- 電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を2本セットします。
- 電池ケースのカバーを閉めます。



- 電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別を正しく行うために、使用する電池の種類を設定してください (初期値: アルカリ乾電池)。(→ 90ページ「こんなことをするには」)

SDカードを挿入する

- SDカードスロットのカバーを開きます。
- SDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。
- SDカードスロットのカバーを閉めます。



注意

- 使用できるSDカードは、SD/SDHC/SDXC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されています。

誤操作を防止するホールド機能

HOLDスイッチを「LEVEL」または「ALL」にするとホールド状態になり、誤操作を防止できます。

- ALL : 入力レベルノブ操作と全てのボタン操作を無視
- LEVEL : 入力レベルノブ操作を無視
- OFF : ホールド機能オフ

電源をオンにする

HOLDスイッチが「OFF」であることを確認し、**ON/1** (電源) ボタンを画面が表示されるまで押し続けてください。



本機が起動してホーム画面が表示されます。

電源をオフ (スタンバイ状態) にする

ON/1 (電源) ボタンを押し、画面が消えるまで押し続けます。

メモ

- 録音待機中/録音中は、電源をオフ (スタンバイ状態) にすることはできません。
- 停止中はオートパワーセーブ機能 (自動電源制御機能) が働かず、電源がオフ (スタンバイ状態) になります。(→ 90ページ「こんなことをするには」)

言語を選択する

お買い上げ後、はじめに電源をオンにしたとき、メニューやメッセージに使用する言語を設定する言語選択画面が表示されます。



1. ホイールを回してカーソルを移動し、言語を選択します。

選択肢

ENGLISH : 英語で表示
日本語 : 日本語で表示
FRANÇAIS : フランス語で表示
ESPAÑOL : スペイン語で表示
DEUTSCH : ドイツ語で表示
ITALIANO : イタリア語で表示

2. 選択が完了したら、ENTER/MARKボタンを押して確定します。

メモ

システム設定画面の言語選択項目でも、再設定できます。(→ 90ページ「こんなことをするには」)

日時を設定する

お買い上げ後、はじめに電源をオンにしたとき、日時設定がリセットされているとき、日時を設定する日時設定画面が表示されます。



1. ホイールを回してカーソルを設定する「年」／「月」／「日」／「時」／「分」／「秒」に移動し、ENTER/MARKボタンを押します。
2. ホイールを回して値を変更し、ENTER/MARKボタンを押します。
3. ホイールを回してカーソルを「OK」に合わせ、ENTER/MARKボタンを押すと確定します。

メモ

日時設定は、メニューからも変更できます。(→ 90ページ「こんなことをするには」)

SDカードをフォーマット(初期化)する

電源をオンしたとき、フォーマットされていないカードが挿入されていると以下のようなメッセージが表示されます。



ENTER/MARKボタンを押して、フォーマットを実行してください。

注意

フォーマットするとSDカードの全てのデータが消去されます。
データをパソコンにバックアップしてからフォーマットを実行してください。

メモ

システム設定画面のカード初期化項目でも、フォーマットを実行できます。(→ 90ページ「こんなことをするには」)

録音する

本機では、録音フォーマットやサンプリング周波数、リミッターやレベルコントロール、ローカットフィルターなどの機能を設定して、より良い音質で録音できます。ここでは、UNI MIC L / R(初期値)を使った録音について説明します。その他の機能の説明は、リファレンスマニュアルをご覧ください。

1. 録音待機状態にする
REC [●] ボタンを押すとRECインジケータが点滅し、録音待機状態になります。
2. 入力レベルを調節する
録音待機中および録音中は、入力レベルを調節することができます。(→ 89ページ「入力レベルを調節する」)
3. 録音を開始する
録音待機中にREC [●] ボタンを押すとRECインジケータが点滅に切り換わり、録音を開始します。
4. 録音を終了する
STOP [■] ボタンを押すと、録音を終了します。

メモ

- 録音中にREC [●] ボタンを押すと、録音が一時停止します。
- 録音を再開する場合は、再度REC [●] ボタンを押します。

入力レベルを調節する

入力音が大きすぎたり歪んだり、または小さすぎたりノイズに埋もれてしまったりするのを選けるために、録音を開始する前に入力レベルを適切なレベルに調節する必要があります。

適切なレベルに調節する

INPUT LEVEL選択スイッチを「STEREO」にします。
レベルメーターを見ながら-12dBを目安に、入力レベルノブを回して入力レベルを調節します。
入力音が最も大きいレベル（ピークレベル）であるときにレベルインジケータの「PEAK」が点灯しない範囲で、できるだけ大きなレベルに調節します。

レベルインジケータ



入力レベルをいっばいに下げてもレベルインジケータの「PEAK」が点灯する場合は、MIC PADスイッチを「ON」にして調節し直してください。

それでもレベルインジケータの「PEAK」が点灯する場合は、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。

再生する

再生する

PLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタンを押すと、再生を開始します。

一時停止する

再生中にPLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタンまたはSTOP [■] ボタンを押すと、一時停止します。

メモ

再度PLAY/PAUSE [▶/⏸] ボタンを押すと、再生を継続します。

停止する

一時停止中にSTOP [■] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。

早戻し/早送りする (サーチ)

ホーム画面で停止中または再生中に◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押し続けると、早戻し/早送りサーチ再生を行います。
ボタンから手を離すと、停止または再生を継続します。

ファイルを選択する (スキップ)

停止中または再生中に◀◀ボタンを押すと1つ前、▶▶ボタンを押すと次のファイルへ移動します。

内蔵スピーカーで聴く

◻ (スピーカー) スイッチを「ON」にします。

ヘッドホンで聴く

◻ (ヘッドホン) 端子にヘッドホンを接続します。

メモ

ヘッドホンを接続したとき、◻ (スピーカー) スイッチが「ON」でも内蔵スピーカーからは音は出ません。

音量を調節する

内蔵スピーカーまたはヘッドホンから出力される音量は、◻/◻ LEVELボリュームを使って調節します。

ファイルを消去する

録音したオーディオファイルを消去します。

1. ファンクション画面を表示する

Fnボタンを押します。

2. 消去を選ぶ

ホイールを使って ファイル消去 項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。



3. 消去を実行する

ホイールを使って「はい」を選択し、ENTER/MARKボタンを押すと消去が実行され、ホーム画面に戻ります。

中止する場合は「いいえ」を選択し、ENTER/MARKボタンを押すと各種機能画面に戻ります。

注意

消去したファイルは、元に戻せませんのでご注意ください。

パソコンと接続する

本機のSDカードの中のオーディオファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中のオーディオファイルを本機に取り込んだりすることができ

パソコンとUSB接続する

1. USBケーブルで接続する
電源がオフ (スタンバイ状態) のときは、オプションにしてください。

2. 接続する

システム設定 画面の USBストレージ 項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。

MENU → システム設定 → USBストレージ
ホイールで「はい」を選択し、ENTER/MARKボタンを押すと接続します。

3. パソコンのディスクプレー上に本機が「DR-100MKIII」(本機でフォーマットした場合) というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

パソコンへファイルを取り出す、パソコンからファイルを取り込む

前項目で表示された「DR-100MKIII」ドライブをクリックすると、「MUSIC」フォルダーと「UTILITY」フォルダーが表示されます。

パソコンへファイルを取り出す場合は、「MUSIC」フォルダーを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

パソコンからファイルを取り込む場合は、パソコンの任意のオーディオファイルを「MUSIC」フォルダーにドラッグ&ドロップします。

パソコンとの接続を解除する

パソコンから本機を正しい手順で切り離し、本機のENTER/MARKボタンを押すとホーム画面に戻ります。
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

こんなことをするには

- ボタン名称は、MENUのように表記します。
- メニュー操作については、ホーム画面が表示されていることを前提として説明します。また、「MENU ボタンを押し、メニュー項目を選択し、設定項目を選択する」を「MENU → メニュー項目 → 設定項目」のように表記します。
- 機能の詳細は、リファレンスマニュアルを参照してください。

分類	こんなことをしたい/説明	操作方法、使用するボタン
録音する	入力ソースを選択する お好みや用途に応じて入力ソースを選択 することができます。	MENU → 入力設定 → 入力ソース
	ファントム電源の供給が必要なコンデンサ マイクを使う	PHANTOMスイッチを「ON」に する
	ファントム電源の電圧を設定することが できます。	MENU → 入力設定 → ファントム電圧
	電源の供給が必要な小型のコンデンサマイ ク（プラグインパワー型コンデンサマイク） を使う	MENU → 入力設定 → プラグインパワー
	プラグインパワーを供給することができます。 MSマイクを使う	MENU → 入力設定 → MSコード
	MS方式のステレオマイクの信号を通常 のステレオ信号に変換します。	MENU → 入力設定 → ローカット
	空調ノイズなどが気になる	MENU → 録音設定 → ファイル形式
	ローカットフィルターを使うことで空調 ノイズなどを低減することができます。	入力レベルノブ
	モノラル録音する	INPUT LEVEL選択スイッチ
	入力レベルを調節する	
入力レベル	入力レベルを左右個別に調節したいとき は、INPUT LEVEL選択スイッチを「L」 または「R」に合わせてください。	MIC PADスイッチを「ON」にす る
	音が歪まないように録音する	LIMITERスイッチを「ON」にす る
	入力レベルノブを絞り切ってもメーター が振り切ってしまう。	MENU → 入力設定 → RECレベ ル制御 → オートレベル
	突発的な過大入力音による歪みを選択。 （リミッター機能）	MENU → 入力設定 → RECレベ ル制御 → ピークリダクション モード
	入力音に応じて自動的に録音レベルを調 節する。（オートレベルモード）	
	入力音の最大レベルに応じて入力レベル を自動的に下げる。（ピークリダクション モード）	

分類	こんなことをしたい/説明	操作方法、使用するボタン
基本設定	録音品質を選択する	MENU → 録音設定 → フォーマット
	お好みや用途に合わせて録音の音質を選 ぶことができます。	MENU → 録音設定 → サンプル
	更に高品質で録音するために	
	ADCCの音質を変える。	MENU → 入力設定 → R/D フィルタ
	S/N性能をより良くする。	MENU → 入力設定 → デュアルADC
	録音ファイルの保存先を変更する	MENU → ファイルブラウザ
	録音中に新規ファイルに切り換えて録音を継続する（ファイルインクリメント 機能）	
	手でファイルをインクリメントする	録音中に▶▶
	一定時間隔で自動的にファイルをイン クリメントする	MENU → 録音設定 → 自動分割
	録音済みの選択したファイルを分割する	
録音する	手でファイルを分割する。 （ファイル分割機能）	Fn → 分割 → 分割
	マークを付けた位置で一括分割する。 （マーク分割機能）	Fn → 分割 → マーク分割
	録音を自動で開始する（オートレック機能）	MENU → 録音設定 → オート レック → モード → レベル
	入力書きのレベルを換出して録音を開始 させることができます。	MENU → 録音設定 → プリレック
	ファイルの先頭の音が欠けないように録音 する（プリレック機能）	
	最大2秒手前から録音することができま す。	
	バックアップ録音する	
	設定した録音レベルより12dB低いレベ ルでバックアップ録音することができます。	MENU → 録音設定 → デュアル → モード → レベル
	WAVとMP3を同時に録る	MENU → 録音設定 → デュアル → モード → フォーマット
	WAVファイルとMP3を同時に録音する ことができます。	
再生する	スピーカーで再生音を聴く	⏪（スピーカー）スイッチを「ON」 にする
	ヘッドホン、スピーカーの音量を調節する	Ω/⏪（ヘッドホン/スピーカー） LEVELボリューム
	ヘッドホンによって聴こえ方（音量）が 異なる場合があります。	MENU → 入力設定 → 出力アッテネーター → ヘッドホン
	ご自分のヘッドホンに合わせてください。 再生ファイルを変更する	
	前後のファイルを選ぶ	◀▶ / ▶▶
	一覧から選ぶ	MENU → ファイルブラウザ

分類	こんなことをしたい/説明	操作方法、使用するボタン
再生する	再生位置を移動する	
	音を出しながら位置を移動する。	◀◀ / ▶▶ (押し続ける)
	音を出さずに移動する。	ホイール
	繰り返し再生する	Fn → ループ再生
	1つのファイルまたは一区間を繰り返し再生することができます。(ループ再生機能)	
	再生速度を変更する	Fn → 可変速再生 (USR)
	ゆっくり再生する、または速く再生させることができます。(VSA再生機能)	
	ファイルを保護する	Fn → プロテクト変更
	選択されているファイルを保護する	MENU → ファイルプロテクト → Fn → プロテクト変更
	ファイルを選んで保護する	Fn → ファイル消去
ファイル	選択されているファイルを消去	MENU → ファイルプロテクト → Fn → ファイル消去
	ファイルを選択して消去	MENU → ファイルプロテクト → Fn → ファイル消去
	ファイルを一括消去	MENU → ファイルプロテクト → Fn → 全ファイル消去
	フォルダーを一括消去	MENU → ファイルプロテクト → 新しいフォルダ
	フォルダーを作る	MENU → ファイルプロテクト → Fn → フォルダ消去
	フォルダーを消去する	MENU → システム設定 → ファイル名形式
	ファイル名の形式を変える	MENU → システム設定 → 番号リセット → リセット
	ファイル番号をリセットする	MENU → システム設定 → 番号リセット → リセット
	新しくフォルダーを作成することにファイル番号をリセットする	MENU → システム設定 → 番号リセット → オン
	パソコンと接続してオーディオファイルを移動する	MENU → システム設定 → USBストレージ
マーク	本機をUSBマスタスレージとして使うことができます。	
	手動でマークを付ける 録音中または再生中に手動でマークを付けることができます (停止中は付けられません)。	録音中または再生中にENTER/MARK

分類	こんなことをしたい/説明	操作方法、使用するボタン
マーク	録音中に自動でマークを付ける	
	設定したレベルを超えたときに付ける (LEVEL)。	MENU → マーク設定 → オートマーク → モード
	設定した録音時間に到達したときに付ける (TIME)。	
	デジタル入力のトラックの区切りを検出したときに付ける (DIGITAL)。	MENU → マーク設定 → ピークマーク
	レベルインジケータの「PEAK」点灯時に付ける。	
	マークの位置に移動する	ENTER/MARK + ◀◀ / ▶▶
	マークの位置に移動する。	MENU → マーク設定 → スキップ対象
	移動するマークを選ぶ。	
	マークを消す	ENTER/MARK
	停止状態でマーク位置に移動し、ENTER/MARKボタンを押すとそのマークを消すことができます。	MENU → ファイルプロテクト → Fn → 全マーク消去
設定	バックライトを消す	MENU → 電源/画面設定 → バックライト
	ディスプレイの明るさを変える	MENU → 電源/画面設定 → 明るさ
	コントラストを調節する	MENU → 電源/画面設定 → コントラスト
	レベルインジケータやRECインジケータを消す	MENU → 電源/画面設定 → LED
	ピークレベルを変更する/ホールドする	MENU → 電源/画面設定 → ピークレベル
	ホールドされたピークレベルをクリアする	ホーム画面表示中にFn (押し続ける)
	ピークホールド機能の動作モードが「HOLD」であるときのみ有効な機能です。各種情報を見る	
	SDカードの情報を見ることができます。	MENU → システム設定 → 情報表示 → カード
	ファームウェアバージョンを見ることができます。	MENU → システム設定 → 情報表示 → ファームウェア
	ファイルの情報を見ることができます。	MENU → システム設定 → 情報表示 → ファイル Fn → ファイル情報
録音時の設定を見ることができます。 XRIデータ記録機能を「ON」にしておく と、録音時の設定を記録します。	Fn → ファイル情報 MENU → 録音設定 → XRI	

分類	こんなことをしたい/説明	操作方法、使用するボタン
システム	日時を変更する	MENU → システム設定 → 日時設定
	言語選択をする	MENU → システム設定 → 言語選択
システム	工場出荷時の設定に戻す	MENU → システム設定 → 設定初期化
	SDカードを初期化する	MENU → システム設定 → カード初期化
操作	誤操作を防ぐ	HOLD → 「LEVEL」
	入カレベルの操作を無効にする。 入カレベルノブと全てのボタンの操作を無効にする。 通隔操作する	HOLD → 「ALL」
操作	使用するリモコンを設定します。	MENU → システム設定 → リモート設定
	自動で電源をオフする（オートパワーセーブ機能） 放置したままにして電池がなくなってしまうことを防ぎます。 録音中や再生中は自動でオフされません。 長時間動作させる	MENU → 電源/画面設定 → 自動電源オフ
電源	内蔵バッテリーと単3形電池を両方使用すると長時間の連続動作が可能になります。内蔵バッテリーと単3形電池のどちらを優先的に使用するか設定してください。	MENU → 電源/画面設定 → バッテリー → 優先使用
	残容量を正確に表示するため、使用する単3形電池の種類を設定してください。 すぐに録音を開始する	MENU → 電源/画面設定 → バッテリー → 単3タイプ
電源	電源がオフ（スタンバイ状態）のときにRECボタンを押しながら ⏻/⏪ （電源）ボタンを押すと、電源がオンになるとともに録音を開始します。	REC（押しながら） + ⏻/⏪ （電源）ボタン
	動画ファイルとの位置合わせの準備 録音開始または開始、終了時に自動でトーン信号を発生させることができます。このトーン信号を本機で録音するとともに、出力音声カメラで録音することにより、動画編集において位置合わせを容易に行うことができます。	MENU → 録音設定 → オートトーン
その他	カメラに信号を入力する	MENU → 入出力設定 → 出カアッテネータ → ライン
	ライン出力レベルを30dB減衰させることができます。	

メニューリスト

MENUボタンを押すと、MENU画面が表示されます。

メニュー項目	機能
ファイルブラウザ	SDカード内のファイル、フォルダー操作
フォーマット	録音ファイルフォーマットの設定
サンプリング	サンプリング周波数の設定
ファイル形式	ファイルタイプの設定
MP3	XRIデータ記録機能のオン/オフ設定
デュアル	デュアル録音機能の設定
自動分割	一定時間間隔で自動的にファイルを更新する録音時間の設定
オートレック	オートレック機能の設定
プリレック	プリレック機能の設定
オートトーン	オートトーン機能の設定
入カソース	入カソースの設定
A/D フィルタ	A/Dコンバーターのフィルターの設定
デュアルADC	S/N性能を向上する機能のオン/オフ設定
ファントム電圧	ファントム電源の電圧値の設定
プラグインパワー	プラグインパワーのオン/オフ設定
ローカット	ローカットフィルターの設定
RECレベル制御	レベルコントロール機能の設定
MSデコード	MSデコード機能の設定
出カアッテネータ	出カアッテネータ機能の設定
オートマーク	オートマーク機能の設定
ピークマーク	ピークマーク機能のオン/オフ設定
スキップ対換	マークスキップモードの設定
自動電源オフ	オートパワーセーブ機能の設定
バッテリー	内蔵バッテリーおよび電池に関する設定
バックライト	バックライトの点灯時間設定
明るさ	バックライトの明るさ設定
コントラスト	コントラスト調節
LED	インジケータのオン/オフ設定
ピークレベル	レベルメーターのピークホールド機能を設定
電源/画面設定	

メニュー項目	機能
情報表示	各種情報の表示
日時設定	日付の設定
ファイル名形式	ファイル名の形式の設定
番号リセット	ファイル番号の初期化
リモート設定	接続するリモコンの設定
言語選択	ディスプレイに表示する言語の設定
設定初期化	工場出荷時の設定に戻す
カード初期化	SDカードの初期化
USBストレージ	USBマスタストレージモードへの切り換え

ファンクションメニューリスト

- ホーム画面で停止中／一時停止中／再生中、および録音待機中にFnボタンを押すと、各種機能画面が表示されます。
Fnボタンを押したときの本機の状態で、表示される機能が異なります。

メニュー項目	機能
プロテクト変更	選択中のファイルのプロテクト変更
ファイル消去	選択中のファイルを消去
分割	選択中のファイルを分割
ループ再生	ループ再生の設定
可変速再生 (VSA)	VSA再生の設定
MSデコード	MSデコード機能の設定
ファイル情報	選択中のファイルのファイル情報を表示
ローカット	ローカットフィルターの設定
RECレベル制御	レベルコントロール機能の設定
MSデコード	MSデコード機能の設定

- ブラウズ画面のフォルダーまたはファイルを選択中にFnボタンを押すと、フォルダメニュー画面またはファイルメニュー画面が表示されます。

メニュー項目	機能
ファイル情報	選択したファイルのファイル情報を表示
ブラウズ画面ファイル消去	選択したファイルを消去
プロテクト変更	選択したファイルのプロテクトの変更
全マーク消去	選択したファイルに付いているマークを全て消去
全ファイル消去	選択したフォルダー内のファイルを全て消去
フォルダ消去	選択したフォルダーを消去

メッセージ一覧

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
DR-100MKIIIでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
ボタンがホールド状態です	HOLDスイッチにより入力レベルノブとボタンの操作が無効化されています。
LEVELがホールド状態です	HOLDスイッチにより入力レベルノブの操作が無効化されています。
電池が空になりました	内蔵バッテリーを充電するか、電池を交換してください。
電池容量不足	SDカードをセットしてください。
カードがありません	録音や消去を行う場合は、SDカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチを解除してください。
書き込み禁止にされています	SDカードを認識できません。 SDカードを交換してください。
カードエラー	SDカードの残容量がありません。
カード容量の上限です	SDカードが正常にフォーマットされていないか、SDカードが壊れている可能性があります。フォーマットを実行してください。
フォーマットエラー フォーマットします	ENTER/MARKボタンを押すと、フォーマットを実行します。
SDカードエラー カードを戻してください	フォーマットを実行すると、SDカード内のデータは全て消去されます。 SDカードが正常でない可能性があります。 SDカードを交換してください。
HDRエラー カードを初期化します	SDカードが正常にフォーマットされていないか、SDカードが壊れている可能性があります。 ENTER/MARKボタンを押すと、フォーマットを実行します。 フォーマットを実行すると、SDカード内のデータは全て消去されます。フォーマット上が実行できない場合は、SDカードを交換してください。
書き込みエラー 録音続きます	SDカードへの書き込みが間に合いませんでした。これにより音声の不連続になり、ノイズが発生します。 この不連続点には、BOFマークが付けられます。

メッセージ	内容と対処方法
カード速度低下 BOFマークを確認	SDカードへの書き込み性能が低下しています。 SDカードへの書き込みが間に合わず、発生した不連続点にはBOFマークが付いています。 BOFマーク付近の音声を確認してください。 イレースフォーマットを実行するか、SDカードを交換してください。
不正システムファイル 再作成します	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常でありません。 ENTER/MARKボタンを押して、システムファイルを作成してください。
システムファイルを再作成します	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。 ENTER/MARKボタンを押して、システムファイルを作成してください。
対話外ファイル	取り扱い可能なファイル形式については、リファレンスマニュアルをご覧ください。
ファイル数の上限です	フォルダーとファイルの総数が制限値（5000個）を超えるため、録音できません。 ファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。 対象のファイルを確認してください。
ファイルがありません	消去する場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。
プロテクト状態の為 消去できません	ファイルが短すぎで分割できません。
分割できません ファイルが短すぎます	MP3ファイルは分割できません。
同名ファイルがあり 分割できません	ディバイドにより作成されるファイルと同じファイル名で存在します。 パソコンでファイル名を変更してください。
マークが無い為 分割できません	マーク分割は、マークが存在しないファイルでは実行できません。
マーク間隔が短すぎて 分割できません	マーク分割は、マークの間隔が2秒以内の場所があると実行できません。
ファイルが無いので 分割できません	オーディオファイルがありません。
ファイル名が不正な為 分割できません	分割するとファイル名の文字数の制限値（200文字）を超えるため実行できません。 パソコンでファイル名を変更してください。
マーク数制限に到達	マーク数が制限値（99個）に達しました。

メッセージ	内容と対処方法
フォルダが空でないので 消去できません	ファイルを含むフォルダーを消去することはできません。 フォルダーに含まれるファイルを全て消去してから再度実行してください。
HDRデータがありません	XRIデータが記録されていません。録音を開始する前にXRIデータ記録機能をオンにしてください。 MP3ファイルとして録音するときは、XRIデータは記録されません。
プロテクト状態の為 マークできません	ファイルが書き込み禁止であるためマークを付けることができません。 マークを設定したい場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。
ファイルが短すぎて マークできません	ファイルが短すぎてマークを付けることができません。
デジタル入力力が アンロック状態です	デジタル入力（DIGITAL IN端子）に接続されていないか、正しく信号が入力されていません。 デジタル接続を確認してください。
デジタル入力力が ロックしました	デジタル入力力が正しく検出されました。
サンプリング一致しません	デジタル入力のサンプリング周波数が録音設定と一致しません。 IN点（始点）とOUT点（終点）の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
温度注意 USBを接続してください	内蔵バッテリー/単3形電池を使用している状態で内部温度が上昇しています。 USB接続で電源を供給すると継続使用できます。
動作範囲外温度	内部温度が上昇しています。 自動的にシステムをシャットダウンします。

その他のエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。

トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の確認を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

電源が入らない。

- 内蔵バッテリーが十分充電されているか、または電池が正しくセットされているか確認してください。
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）の電源プラグ、およびUSBコネクタがしっかりと差し込まれているか確認してください。USBハブを経由すると正しく動作しない場合があります。
- HOLDスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

電源が自動的に切れてしまう。

- オートパワーセーブ機能が設定されていないか確認してください。
 - 本機は欧州待機時電力規制（ErP）に対応しているため、ACアダプター・電池使用時にかかわらずオートパワーセーブ機能が動作します。オートパワーセーブ機能を使用したくないときは「OFF」に設定してください（工場出荷時には「30分」に設定されています）。

CHGインジケーターのオレンジと緑のインジケーターが交互に点灯し続ける。

- 温度の高い場所や低い場所では、正しく充電できない場合があります。温度の高い場所や低い場所では、正しく充電できない場合があります。充電動作ができる温度（室温0℃以上30℃以下）で充電してください。

内蔵バッテリーの残量が正しく表示されない

- ご購入当初は、バッテリー残量が正しく表示されない場合があります。一度フル充電およびフル充電を行っていただくと、バッテリー残量の学習機能が更新され、正しく表示されます。

本体で操作できない。

- HOLDスイッチが「OFF」になっているか確認してください。
- USBストレージモード時は操作できません。
- 動作がおかしくなったときには、STOPボタンを押しながら **⌂**（電源）ボタンを10秒以上押し続けてください。強制的に電源をオフ（スタンバイ状態）にします。

SDカードを認識しない。

- SDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。
- 音が出ない。
 - 本機のヘッドホン/スピーカー出力レベルを確認してください。
 - モニターシステムの接続、およびモニターシステム側の音量を確認してください。
- 以下のとき、スピーカーから音は出ません。
 - **⏏**（スピーカー）スイッチが「OFF」
 - 録音待機または録音中
 - ヘッドホン使用時

録音できない。

- SDカードに十分な空き容量があることを確認してください。
- ファイル総数が5000ファイルに達すると録音できなくなります。入力音が非常に小さい、もしくは非常に大きい。
- 入力レベルの設定を確認してください。
- 接続した外部機器の出力レベルを確認してください。

出力音が不自然に聞こえる。

- 再生スピード（VSA再生機能）を確認してください。
- レベルコントロール機能がオンになっていないか確認してください。

ファイルが消去できない。

- プロテクト（読み取り専用）されているファイルは、消去できません。**パソコン上に本機のファイルが表示されない。**
- 本機がUSB端子経由でパソコンに正しく接続されているか確認してください。USBハブ経由で接続すると、正しく動作しない場合があります。
- 本機がUSBストレージモードになっているか確認してください。

言語を間違えて設定してしまった。

- **⌂**（電源）ボタンを押しして電源をオフにした後、MENUボタンを押しながら **⌂**（電源）ボタンを押ししてください。言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

仕様

定格

記録メディア

SDカード (64MB～2GB)
SDHCカード (4GB～32GB)
SDXCカード (48GB～128GB)

録音再生フォーマット

WAV (BWF) : 44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz,
16/24ビット
MP3 : 44.1k/48kHz,
128k/192k/256k/320kbps

チャンネル数

2チャンネル (ステレオ)

入出力

MIC/LINE IN端子 (XLRのみファントム電源対応)

コネクタ: XLR-3-31、φ6.3mm (1/4") TRS標準ジャック

EXT IN端子 (プラグインパワー対応)

コネクタ: φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック

DIGITAL IN端子

コネクタ: φ3.5mm (1/8") TRSジャック

LINE OUT端子

コネクタ: φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック

Ω (ヘッドホン) 端子

コネクタ: φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック

内蔵スピーカー

0.4W (モノラル)

USB端子

コネクタ: micro-Bタイプ
フォーマット: USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

REMOTE端子

コネクタ: φ2.5mm (3/32") TRSジャック

オーディオ性能

周波数特性

- MIC/LINE IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- MIC/LINE IN (LINE) to LINE OUT
- EXT IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- EXT IN (LINE) to LINE OUT
- 20Hz-20kHz +0.5dB/-1dB
(Fs=44.1kHz/48kHz, JEITA)
- 20Hz-40kHz +0.5dB/-2dB
(Fs=88.2kHz/96kHz, JEITA)
- 20Hz-80kHz +0.5/-4dB
(Fs=176.4kHz/192kHz, JEITA)

歪率

- MIC/LINE IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- MIC/LINE IN (LINE, +20dBu 入力) to LINE OUT
- EXT IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- EXT IN (LINE) to LINE OUT
- 0.007%以下
(Fs=44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz, JEITA)

S/N比

- MIC/LINE IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- MIC/LINE IN (LINE) to LINE OUT
- EXT IN (MIC, PAD On) to LINE OUT
- EXT IN (LINE) to LINE OUT
- 102dB以上
(Fs=44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz, JEITA)

等価入力雑音

124dBu以下

注) JEITA : JEITA CP-2150準拠

録音時間

ファイルフォーマット (録音時の設定)	SDHCカード容量 (4GB)
MP3 320kbps (ステレオ)	27時間46分
WAV 16ビット (ステレオ)	6時間17分
WAV 24ビット (ステレオ)	1時間55分
WAV 24ビット (ステレオ)	57分

- 上記録音時間は理論値であり、ご使用のSD / SDHC / SDXCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、SD / SDHC / SDXCカードに可能な録音合計時間です。
- モノラル録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。
- デュアル録音の場合は、上記録音時間の約半分の時間となります。

一般

電源

- 内蔵リチウムイオン充電電池
- 単3形電池2本
(アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池)
- パソコンからのUSBバスパワー専用ACアダプター
(TASCAM PS-P520E、別売)
- 専用外付けバッテリーパック
(TASCAM BP-6AA、別売)

消費電力

7.5W (最大時)

電池持続時間 (連続使用時)

- 内蔵バッテリー (リチウムイオン充電電池) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用	約12時間
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V, 負荷: 3mA x2)	約6時間
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	

- アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用	約2時間45分
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V, 負荷: 3mA x2)	約1時間
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	

- ニッケル水素電池 (eneloop) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用	約3時間30分
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V, 負荷: 3mA x2)	約2時間15分
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	

- リチウム乾電池 (Energizer ULTIMATE LITHIUM) 使用時

使用条件	持続時間
UNI MIC (内蔵指向性マイク) 入力 ファントム電源未使用	約7時間
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	
MIC/LINE IN端子/マイク入力 ファントム電源使用時 (+48V, 負荷: 3mA x2)	約3時間30分
STEREO WAV (BWF) / 44.1kHz 16bitで録音	

メモ

ファントム電源を使用時には、ご使用になるマイクにより持続時間が短くなる場合があります。

充電時間 (電源オフ時)

- USB入力時 : 約10時間
- PS-P520E使用時 : 約4.5時間

外形寸法

80 x 155.7 x 35mm (幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含まず)

質量

425g / 375g (電池を含む/電池を含まず)

動作温度

0 ~ 40℃

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外觀が予告なく変更することがあります。
- 詳細仕様は、リファレンスマニュアルに掲載しています。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

リファレンスマニュアルに関して

取扱説明書（本書）では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。
リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。